※令和４年度以降入学生用

学校番号	325

令和８年度　生命科

教科	生命	科目	生命生物演習	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書							
副教材等	「生物」（東京書籍）　　ESSENCE 生物（啓林館） ﾌｫﾄｻｲｴﾝｽ生物図録（数研出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

生物基礎・生物で学んだ内容について、生命科学系や看護医療系を志望する人のためにより内容を発展させ、より高度なものとするために、発展的講義に加えて、実験・実習および演習・調べ学習・発表を行います。

2　学習の到達目標

・日常生活や社会との関連を図りながら，生物や生物現象について理解するとともに，科学的に探究するために必要な観察，実験などに関する基本的な技能を身に付ける。 ・観察，実験などを行い，科学的に探究する力を養う。 ・生物や生物現象に主体的に関わり，科学的に探究しようとする態度と，生命を尊重し，自然環境の保全に寄与する態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	自然の事物・現象に対する概念や原理・法則を理解し、知識を身につけている。 観察、実験などを行い、基本操作を習得するとともに、それらの過程や結果を的確に記録、整理し、自然の事物・現象を科学的に探求する技能を身につけている。	自然の事物・現象の中に見通しともって課題や仮説を設定し、観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、根拠を基に導き出した考えを表現している。	自然の事物・現象に主体的にかかわり、それらを科学的に探求しようとするとともに、探求の過程などを通して獲得した知識・技能や判断力・表現力を日常生活や社会に生かそうとしている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期中間	1編 生物の進化	1章　生命の起源と細胞の進化 1節 共通性と多様性をつなぐ進化 2節 生命の誕生 3節 生物の多様性と地球環境の変化	a. 生物の特徴として、共通性と多様性があることを理解できる。また、生物は環境への適応により進化することを理解できる。 b. 化学進化によって最初の生命が誕生したこと、その際、核酸やタンパク質がつくられること、細胞膜の形成が重要な意味を持つことを説明できる。 a. 原核生物から真核生物への進化の過程とその意味が理解できる。 c. 小テストに解答できる。また、提出物を十分に提出できている。	提出ノート 小テスト 定期考査 レポート	提出ノート 小テスト 定期考査	提出ノート 小テスト レポート
		2章　遺伝子の変化と進化のしくみ 1節 遺伝的変異 2節 多様な遺伝的変異をもたらす有性生殖 3節 進化の定義と自然選択による進化 4節 遺伝子レベルでみる進化 5節 種分化	a. 遺伝子の変化が形質の変化をもたらすこと、減数分裂の過程とや意義を理解できる。 b. メンデルの遺伝の法則を活用して遺伝現象を説明したり、組み換えによる遺伝的多様性の説明ができる。 b. 自然選択と適応によって進化の理論を説明できる。 b.　遺伝子プールの考え方により、進化を含めた集団的遺伝現象を説明できる。例として、ハーディーワインベルクの法則を説明できる。 a.　種の考え方を理解できる。 c. 小テストに解答できる。また、提出物を十分に提出できている。	提出ノート 小テスト 定期考査 レポート	提出ノート 小テスト 定期考査	提出ノート 小テスト レポート

※令和４年度以降入学生用

		3章　生物の系統 と進化 1節 生物の系統 2節 生物の系統分類 3節 霊長類の中のヒト 4節 人類の出現と変遷	b．形態に基づく系統分類の考えを理解し、分子系統樹を作成することができる。 b．自然界における人類の系統的地位を理解し、人類の進化について説明できる。 c．小テストに解答できる。また、提出物を十分に提出できている。	提出ノート 小テスト 定期考査 レポート	提出ノート 小テスト 定期考査	提出ノート 小テスト レポート

※令和４年度以降入学生用

1学期期末	2編 生命現象と物質	1章　細胞と物質 1節 細胞を構成する成分 2節 生体膜のはたらき 3節 細胞の構造 4節 タンパク質の構造 5節 酵素としてはたらくタンパク質 6節 生命現象とタンパク質	a．細胞を構成する物質として、水、タンパク質、炭水化物、脂質、核酸、無機物などの特徴がわかる。 a．細胞膜の成分がリン脂質とタンパク質であり、その透過性にかかわっていることを理解できる。 b．真核細胞・原核細胞のオルガネラにいて、機能別に理解し説明でき、タンパク質およびアミノ酸の分子構造と機能について表現することができる。 b．酵素の基質特異性を主成分がタンパク質であることと結び付け、酵素濃度・基質濃度・温度と酵素反応速度について分子の運動に基づいて説明できる。 b．酵素反応の阻害や補酵素のはたらきについて分子のレベルでの説明ができる。 a．生体膜での物質の透過や細胞間での情報伝達の担い手としてのタンパク質について機能を理解できる。 c．小テストに解答できる。また、提出物を十分に提出できている。	提出ノート 小テスト 定期考査 レポート	提出ノート 小テスト 定 期 考 査	提出ノート 小テスト レポート

※令和４年度以降入学生用

２学期中間	２章　代謝とエネルギー	１節 代謝とエネルギー ２節 呼吸 ３節 発酵 ４節 光合成	ａ．代謝にはエネルギーの出入りが伴い、それは ATP によって担われることが理解できる。 ａ．好気呼吸の解糖系・クエン酸回路・電子伝達系の各反応を酸化やＡＴＰの合成といった視点で理解できる。 ｂ．アルコール発酵・乳酸発酵について、好気呼吸との対比ができ、消費グルコースや生成有機酸の対比を考えることができる。 ｂ．光合成をＡＴＰ・ＮＡＤＰＨの合成と炭酸同化の過程に分けて、その特徴を説明できる。 c．小テストに解答できる。また、提出物を十分に提出できている。	提出ノート 小テスト 定期考査 レポート	提出ノート 小テスト 定 期 考 査	提出ノート 小テスト レポート
	３編　遺伝情報の発現と発生	１章　遺伝情報とその発現 １節 DNA の構造 ２節 DNA の複製 ３節 遺伝情報の流れ ４節 RNA と転写 ５節 翻訳のしくみ ６節 遺伝情報の変化	ａ．DNA の構造について、生物基礎での知見に加えて、ヌクレオチド鎖の方向性がわかる。 ａ．半保存的複製の詳細とメセルソン＆スタールの実験を理解できる。 ｂ．ＤＮＡポリメラーゼの性質に基づいて、プライマーの必要性、岡崎フラグメントの存在を説明できる。 ａ．スプライシングを含めて、セントラルドグマを理解できる。 ａ．DNA の変異と形質の変異の関係を代謝異常などの例で理解できる。 c．小テストに解答できる。また、提出物を十分に提出できている。	提出ノート 小テスト 定期考査 レポート	提出ノート 小テスト 定 期 考 査	提出ノート 小テスト レポート

※令和４年度以降入学生用

		２章　発生と遺伝子発現 １節 原核生物の遺伝子発現の調節 ２節 真核生物の遺伝子発現の調節 ３節 選択的遺伝子発現と細胞分化 ４節 動物の発生	ａ．オペロンおよび真核生物での転写調節の仕組みについて理解できる。 ｂ．細胞の分化と遺伝子発現を結び付けて考え、動物の配偶子形成と受精の過程を説明できる。 ｂ．ウニとカエルについて発生の過程を図示できる。 c．小テストに解答できる。また、提出物を十分に提出できている。	提出ノート 小テスト 定期考査 レポート	提出ノート 小テスト 定 期 考査	提出ノート 小テスト レポート
２学期期末		2 章　発生と遺伝子発現 5 節　胚の細胞の発生運命と遺伝子発現 6 節動物の形と調節遺伝子の発現	a:「誘導」が化学物質によってなされること、その物質は遺伝子の転写調節によって合成が調節されることがわかる。 b:実験的に誘導を変化させられうるしくみが理解できる。 c:動物の形態形成について、誘導の原理に基づいて理解しようとする態度が見られる。	小テスト 定期考査	小テスト 定期考査 レポート	小テスト ノート 問題集提出 レポート
		3 章　遺伝子を扱う技術 1 節　遺伝子を増幅する技術 2 節　塩基配列を解読する技術 3 節　遺伝子組み換え技術の利用 4 節　遺伝子や細胞を扱う技術の課題	a:核酸の分子構造の特徴とくに塩基の相補性にもとづいたバイオテクノロジーの原理がりかいできる。 b:遺伝的にどのような改変・操作を行えば、どのような結果が得られるかの因果関係について推察できる c:現代社会にみられるバイオテクノロジーにまつわる諸問題について、考察しようとする態度が見られる。	小テスト 定期考査	小テスト 定期考査 演習 レポート	小テスト ノート 演習 問題集提出 レポート

※令和４年度以降入学生用

	4編 生物の環境応答	1章　動物の刺激の受容と応答 1節　刺激の受容から反応への流れ 2節　ニューロンの興奮 3節　興奮の伝導 4節　興奮の伝達 5節　刺激の受容と感覚 6節　中枢神経系での情報処理 7節　効果器	a:ニューロンの興奮のしくみ、興奮の伝導・伝達のしくみが理解できる。受容体のしくみがわかる。 b:伝達の一方向性、中枢・末梢神経の働きにもとづいて、身体に現れる反応のしくみを理解できる c:身体にみられる反応について興味を持って考察できる。	小テスト 定期考査	小テスト 定期考査 レポート	小テスト ノート 問題集提出 レポート
		2章　動物の行動 1節　動物の行動とは 2節　刺激の受容と行動 3節　学習のしくみ 3章　植物の環境応答 1節　被子植物の生殖と発生 2節　植物の一生の出来事と環境の影響 3節　植物ホルモンと光受容体 4節　環境要因による発芽の調節	a:ＤＮＡに組み込まれた生得的行動と経験によって学習される行動があることがわかる。 b:動物の行動を生得的行動、学習による行動の視点から分析できる。 c:多くの動物の行動について、考察しようとする態度が見られる。	小テスト 定期考査	小テスト 定期考査 レポート	小テスト ノート 問題集提出 レポート
3学期		5節　茎や根の成長と環境要因の影響 6節　気孔の開閉の調節と環境要因の影響 7節　花芽形成と環境要因の影響 8節　果実の形成と成熟のしくみ 9節　器官の老化と脱落のしくみ	a:　植物の環境応答についてよく物ホルモンのはたらきを理解できる。 b:　植物ホルモンの作用と環境応答を結び付けて説明できる。 c:　日常にみられる植物の成長や反応について、考察する態度が見られる。	小テスト 定期考査	小テスト 定期考査 レポート	小テスト ノート 問題集提出 レポート

※令和４年度以降入学生用

	5編 生態と環境	1章 個体群と生物群集 1節 生態系からみた生物 2節 個体群と環境 3節 個体群の構造と成長 4節 個体間の相互作用 5節 種間の相互作用 6節 生物群集の成り立ちと多種の共存	a:生物を個体群の中の存在としてとらえ、個体群内外の他個体・他個体群との関係で理解できる。 b:生態的地位の似る種どうしは競争関係となりやすいことが理解でき、説明できる。 c:生物の集団について興味を持ち、学習できる。	小テスト 定期考査	小テスト 定期考査 演習 レポート	小テスト ノート 演習 問題集提出 レポート
		2章 生態系の物質生産と物質循環 1節 食物網と物質生産 2節 生態系の物質収支と生態ピラミッド 3章 生態系と人間生活 1節 生物多様性 2節 人間社会の変化と生態系 3節 生態系の復元 4節 人間は自然とどう付き合っていったらよいか	a: 生態系における物質やエネルギーの流れについて理解できる。また、人間活動が生態系にどのようにかかわっているかがわかる。 b: 個体群や群集の盛衰についてそれらが持っているエネルギーや有機物の量の増減から考えられる。 また、生態系の保全と回復にはどのような施策が有効であるかを考えられる。 c:人間生活と生態系について、深く考察しようとする態度が見られる。	小テスト	小テスト レポート	小テスト ノート 問題集提出 レポート

※ 表中の観点について a:知識・技能 b:思考・判断・表現 c:主体的に学習に取り組む態度

※令和４年度以降入学生用

学校番号	325

令和８年度　生命科

教科	生命	科目	生命生物演習	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書							
副教材等	「生物」（東京書籍）　　ESSENCE 生物（啓林館） ﾌｫﾄｻｲｴﾝｽ生物図録（数研出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

生物基礎・生物で学んだ内容について、生命科学系や看護医療系を志望する人のためにより内容を発展させ、より高度なものとするために、発展的講義に加えて、実験・実習および演習・調べ学習・発表を行います。

2　学習の到達目標

・日常生活や社会との関連を図りながら，生物や生物現象について理解するとともに，科学的に探究するために必要な観察，実験などに関する基本的な技能を身に付ける。 ・観察，実験などを行い，科学的に探究する力を養う。 ・生物や生物現象に主体的に関わり，科学的に探究しようとする態度と，生命を尊重し，自然環境の保全に寄与する態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	自然の事物・現象に対する概念や原理・法則を理解し、知識を身につけている。 観察、実験などを行い、基本操作を習得するとともに、それらの過程や結果を的確に記録、整理し、自然の事物・現象を科学的に探求する技能を身につけている。	自然の事物・現象の中に見通しともって課題や仮説を設定し、観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、根拠を基に導き出した考えを表現している。	自然の事物・現象に主体的にかかわり、それらを科学的に探求しようとするとともに、探求の過程などを通して獲得した知識・技能や判断力・表現力を日常生活や社会に生かそうとしている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期中間	1編 生物の進化	1章　生命の起源と細胞の進化 1節 共通性と多様性をつなぐ進化 2節 生命の誕生 3節 生物の多様性と地球環境の変化	a. 生物の特徴として、共通性と多様性があることを理解できる。また、生物は環境への適応により進化することを理解できる。 b. 化学進化によって最初の生命が誕生したこと、その際、核酸やタンパク質がつくられること、細胞膜の形成が重要な意味を持つことを説明できる。 a. 原核生物から真核生物への進化の過程とその意味が理解できる。 c. 小テストに解答できる。また、提出物を十分に提出できている。	提出ノート 小テスト 定期考査 レポート	提出ノート 小テスト 定期考査	提出ノート 小テスト レポート
		2章　遺伝子の変化と進化のしくみ 1節 遺伝的変異 2節 多様な遺伝的変異をもたらす有性生殖 3節 進化の定義と自然選択による進化 4節 遺伝子レベルでみる進化 5節 種分化	a. 遺伝子の変化が形質の変化をもたらすこと、減数分裂の過程とや意義を理解できる。 b. メンデルの遺伝の法則を活用して遺伝現象を説明したり、組み換えによる遺伝的多様性の説明ができる。 b. 自然選択と適応によって進化の理論を説明できる。 b.　遺伝子プールの考え方により、進化を含めた集団的遺伝現象を説明できる。例として、ハーディーワインベルクの法則を説明できる。 a.　種の考え方を理解できる。 c. 小テストに解答できる。また、提出物を十分に提出できている。	提出ノート 小テスト 定期考査 レポート	提出ノート 小テスト 定期考査	提出ノート 小テスト レポート

※令和４年度以降入学生用

		3章　生物の系統 と進化 1節 生物の系統 2節 生物の系統分類 3節 霊長類の中のヒト 4節 人類の出現と変遷	b．形態に基づく系統分類の考えを理解し、分子系統樹を作成することができる。 b．自然界における人類の系統的地位を理解し、人類の進化について説明できる。 c．小テストに解答できる。また、提出物を十分に提出できている。	提出ノート 小テスト 定期考査 レポート	提出ノート 小テスト 定期考査	提出ノート 小テスト レポート

※令和４年度以降入学生用

1学期期末	2編 生命現象と物質	1章　細胞と物質 1節 細胞を構成する成分 2節 生体膜のはたらき 3節 細胞の構造 4節 タンパク質の構造 5節 酵素としてはたらくタンパク質 6節 生命現象とタンパク質	a．細胞を構成する物質として、水、タンパク質、炭水化物、脂質、核酸、無機物などの特徴がわかる。 a．細胞膜の成分がリン脂質とタンパク質であり、その透過性にかかわっていることを理解できる。 b．真核細胞・原核細胞のオルガネラにいて、機能別に理解し説明でき、タンパク質およびアミノ酸の分子構造と機能について表現することができる。 b．酵素の基質特異性を主成分がタンパク質であることと結び付け、酵素濃度・基質濃度・温度と酵素反応速度について分子の運動に基づいて説明できる。 b．酵素反応の阻害や補酵素のはたらきについて分子のレベルでの説明ができる。 a．生体膜での物質の透過や細胞間での情報伝達の担い手としてのタンパク質について機能を理解できる。 c．小テストに解答できる。また、提出物を十分に提出できている。	提出ノート 小テスト 定期考査 レポート	提出ノート 小テスト 定 期 考 査	提出ノート 小テスト レポート

※令和４年度以降入学生用

２学期中間	２章　代謝とエネルギー	１節 代謝とエネルギー ２節 呼吸 ３節 発酵 ４節 光合成	ａ．代謝にはエネルギーの出入りが伴い、それは ATP によって担われることが理解できる。 ａ．好気呼吸の解糖系・クエン酸回路・電子伝達系の各反応を酸化やＡＴＰの合成といった視点で理解できる。 ｂ．アルコール発酵・乳酸発酵について、好気呼吸との対比ができ、消費グルコースや生成有機酸の対比を考えることができる。 ｂ．光合成をＡＴＰ・ＮＡＤＰＨの合成と炭酸同化の過程に分けて、その特徴を説明できる。 c．小テストに解答できる。また、提出物を十分に提出できている。	提出ノート 小テスト 定期考査 レポート	提出ノート 小テスト 定 期 考査	提出ノート 小テスト レポート
	３編　遺伝情報の発現と発生	１章　遺伝情報とその発現 １節 DNA の構造 ２節 DNA の複製 ３節 遺伝情報の流れ ４節 RNA と転写 ５節 翻訳のしくみ ６節 遺伝情報の変化	ａ．DNA の構造について、生物基礎での知見に加えて、ヌクレオチド鎖の方向性がわかる。 ａ．半保存的複製の詳細とメセルソン＆スタールの実験を理解できる。 ｂ．ＤＮＡポリメラーゼの性質に基づいて、プライマーの必要性、岡崎フラグメントの存在を説明できる。 ａ．スプライシングを含めて、セントラルドグマを理解できる。 ａ．DNA の変異と形質の変異の関係を代謝異常などの例で理解できる。 c．小テストに解答できる。また、提出物を十分に提出できている。	提出ノート 小テスト 定期考査 レポート	提出ノート 小テスト 定 期 考査	提出ノート 小テスト レポート

※令和４年度以降入学生用

		２章　発生と遺伝子発現 １節 原核生物の遺伝子発現の調節 ２節 真核生物の遺伝子発現の調節 ３節 選択的遺伝子発現と細胞分化 ４節 動物の発生	ａ．オペロンおよび真核生物での転写調節の仕組みについて理解できる。 ｂ．細胞の分化と遺伝子発現を結び付けて考え、動物の配偶子形成と受精の過程を説明できる。 ｂ．ウニとカエルについて発生の過程を図示できる。 c．小テストに解答できる。また、提出物を十分に提出できている。	提出ノート 小テスト 定期考査 レポート	提出ノート 小テスト 定 期 考査	提出ノート 小テスト レポート
２学期期末		2 章　発生と遺伝子発現 5 節　胚の細胞の発生運命と遺伝子発現 6 節動物の形と調節遺伝子の発現	a:「誘導」が化学物質によってなされること、その物質は遺伝子の転写調節によって合成が調節されることがわかる。 b:実験的に誘導を変化させられうるしくみが理解できる。 c:動物の形態形成について、誘導の原理に基づいて理解しようとする態度が見られる。	小テスト 定期考査	小テスト 定期考査 レポート	小テスト ノート 問題集提出 レポート
		3 章　遺伝子を扱う技術 1 節　遺伝子を増幅する技術 2 節　塩基配列を解読する技術 3 節　遺伝子組み換え技術の利用 4 節　遺伝子や細胞を扱う技術の課題	a:核酸の分子構造の特徴とくに塩基の相補性にもとづいたバイオテクノロジーの原理がりかいできる。 b:遺伝的にどのような改変・操作を行えば、どのような結果が得られるかの因果関係について推察できる c:現代社会にみられるバイオテクノロジーにまつわる諸問題について、考察しようとする態度が見られる。	小テスト 定期考査	小テスト 定期考査 演習 レポート	小テスト ノート 演習 問題集提出 レポート

※令和４年度以降入学生用

	4編 生物の環境応答	1章　動物の刺激の受容と応答 1節　刺激の受容から反応への流れ 2節　ニューロンの興奮 3節　興奮の伝導 4節　興奮の伝達 5節　刺激の受容と感覚 6節　中枢神経系での情報処理 7節　効果器	a:ニューロンの興奮のしくみ、興奮の伝導・伝達のしくみが理解できる。受容体のしくみがわかる。 b:伝達の一方向性、中枢・末梢神経の働きにもとづいて、身体に現れる反応のしくみを理解できる c:身体にみられる反応について興味を持って考察できる。	小テスト 定期考査	小テスト 定期考査 レポート	小テスト ノート 問題集提出 レポート
		2章　動物の行動 1節　動物の行動とは 2節　刺激の受容と行動 3節　学習のしくみ 3章　植物の環境応答 1節　被子植物の生殖と発生 2節　植物の一生の出来事と環境の影響 3節　植物ホルモンと光受容体 4節　環境要因による発芽の調節	a:ＤＮＡに組み込まれた生得的行動と経験によって学習される行動があることがわかる。 b:動物の行動を生得的行動、学習による行動の視点から分析できる。 c:多くの動物の行動について、考察しようとする態度が見られる。	小テスト 定期考査	小テスト 定期考査 レポート	小テスト ノート 問題集提出 レポート
3学期		5節　茎や根の成長と環境要因の影響 6節　気孔の開閉の調節と環境要因の影響 7節　花芽形成と環境要因の影響 8節　果実の形成と成熟のしくみ 9節　器官の老化と脱落のしくみ	a:　植物の環境応答についてよく物ホルモンのはたらきを理解できる。 b:　植物ホルモンの作用と環境応答を結び付けて説明できる。 c:　日常にみられる植物の成長や反応について、考察する態度が見られる。	小テスト 定期考査	小テスト 定期考査 レポート	小テスト ノート 問題集提出 レポート

※令和４年度以降入学生用

	5編 生態と環境	1章 個体群と生物群集 1節 生態系からみた生物 2節 個体群と環境 3節 個体群の構造と成長 4節 個体間の相互作用 5節 種間の相互作用 6節 生物群集の成り立ちと多種の共存	a:生物を個体群の中の存在としてとらえ、個体群内外の他個体・他個体群との関係で理解できる。 b:生態的地位の似る種どうしは競争関係となりやすいことが理解でき、説明できる。 c:生物の集団について興味を持ち、学習できる。	小テスト 定期考査	小テスト 定期考査 演習 レポート	小テスト ノート 演習 問題集提出 レポート
		2章 生態系の物質生産と物質循環 1節 食物網と物質生産 2節 生態系の物質収支と生態ピラミッド 3章 生態系と人間生活 1節 生物多様性 2節 人間社会の変化と生態系 3節 生態系の復元 4節 人間は自然とどう付き合っていったらよいか	a: 生態系における物質やエネルギーの流れについて理解できる。また、人間活動が生態系にどのようにかかわっているかがわかる。 b: 個体群や群集の盛衰についてそれらが持っているエネルギーや有機物の量の増減から考えられる。 また、生態系の保全と回復にはどのような施策が有効であるかを考えられる。 c:人間生活と生態系について、深く考察しようとする態度が見られる。	小テスト	小テスト レポート	小テスト ノート 問題集提出 レポート

※ 表中の観点について a:知識・技能 b:思考・判断・表現 c:主体的に学習に取り組む態度